

# 目の健康

## 目の前に黒い糸くずや虫見え方の急な変化に注意

ものを見ているときに、黒い糸くずや虫のようなものが見えることがあります。飛蚊症（ひぶんしょう）と呼ばれる症状です。原因には、生理的なもの、眼の病気によるものがあります。

生理的飛蚊症は、加齢や強い近視によって、眼の中の硝子体と呼ばれるゼリー状の物質が液化し、眼の中でゆらゆらと動くようになった

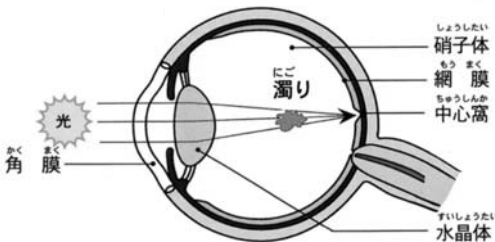
際に硝子体の濁りが見えるものです。ほかに眼の病気がなければ、症状は薬で消すことができないため様子を見ていくことになります。

ただし、急激に飛蚊症の数が増えたり、視力の低下や視野の一部がかけているなど見え方がおかしくなった場合

は、早急に眼科を受診してください。硝子体が強く網膜を引っ張り、網膜裂孔などが生じると、網膜剥離を引き起こして手術が必要になったり、見えなくなってしまうことがあります。そのため注意が必要です。そのほか、糖尿病網膜症や網膜動脈瘤などからの出血、ぶどう膜炎でも飛蚊症が生じることがあります。

今までなかった飛蚊症が見えはじめたときは、一度眼科での検査をおすすめします。その際、一般的には散瞳薬で瞳を開いて診察するため、診察後も数時間ぼやけて見づらくなります。ご自分で運転されている場合は控えてください。

眼球の断面図



### 大上 智弘 先生 プロフィール

平成14年筑波大学卒業、同附属病院眼科、虎の門病院眼科・茨城西南医療センター病院眼科科長、宮久保眼科副院長を経て令和3年4月院長就任 ■専門分野 / 白内障・硝子体・眼瞼手術、日本眼科学会認定専門医、網膜硝子体学会、日本眼科手術学会員他

